

## 理想すぎる図書館

一般的な図書館では、とても静かな空間で勉強などもしやすいと感じる。体験談として、図書館は勉強をする際に良く利用することが多い。図書館のイメージとして、情報収集ができること。またコミュニケーションを取れる場もあると思う。客観的に見てもインターネットの普及により、情報収集だけでなく、学習方法が大きな変化を遂げている。

図書館はとても集中しやすいが、情報収集や勉強をする以外では図書館を利用する機会が少ない。これまで以上に利用したくなるような図書館の提案として大きく3つある。

1つ目は、充実した学習支援サービスの提供である。例えば、科目別・テーマ別の学習コーナーの設置を行う。受験、資格習得など目的別に特化した学習コーナーを設置し、必要な種類をまとめて閲覧できるようになる。よって、ただ図書館で勉強するだけではなく、専門的なスペースを設けることで、より効率的にインプットすることができる。また、学習方法の習得の面でも自分に合った効果的なやり方を身に着けることで、意欲を持って学習に取り組むことができる。2つ目は、利用促進のためのイベントである。まず、イベントを行うこ

とで認知度向上と利用者数の増加が期待できる。図書館の存在やサービス内容を多くの人に知ってもらうことができる。特に、普段図書館を利用しない人に対して、魅力をアピールすることができる。また、地域活性化への貢献も期待することができる。図書館は、地域住民にとって重要な文化施設であり、地域活性化の中核を担う存在である。よって、地域の文化や歴史を紹介するイベントなどは、地域住民のアイデンティティ形成にも役立てる。3つ目は、温泉と併設された図書館である。今までにないような図書館で、人気も高まり利用してくださる方が増加するはずだ。温泉で体を温めることで、心身ともにリラックスすることができる。読書や学習の前に温泉に入ることで、集中力が高まり、より没頭することができる。両方とも、癒しを与えてくれるものなので、効果も倍増される。また、温泉と図書館を併設することで、読書や学習だけでなく、健康増進やリラクゼーションを求める利用者にも対応することができる。よって、多様なニーズに対応することが可能になる。

図書館は、地域住民にとって重要な文化施設であり、生涯学習の場でもある。利用者がこれまで以上に図書館に興味を持ち、積極的に利用してくれるよう魅力的な図書館を作り上げることが重要だ。